道新でワークシート

年　　組　　名前

生成AIを使ったサービスのイメージ

観光地の質問 ＡＩが回答

伊藤忠グループ きょうから札幌で導入

伊藤忠商事グループが生成人工知能（ＡＩ）を使い、観光地の問い合わせ対応に特化したサービスを始めることが11日、分かった。チャットで質問すると、ＡＩが自動で答える仕組みで、人気店などの深掘りした情報を提供するという。観光客の満足度を高めるとともに、働き手の負担軽減につなげる。

伊藤忠子会社でＩＴ大手の伊藤忠テクノソリューションズが開発した。12日から札幌市で開かれる食の催し「さっぽろオータムフェスト」で導入し、全国展開を目指す。

観光地や催しの会場に訪れた人が、現地の２次元コード（ＱＲコード）をスマートフォンで読み取るなどして使う。例えば、どのような食べ物があるのかを聞くと、ＡＩは評判の良いラーメン店を紹介。メニューや価格のほか素材へのこだわりやお薦めの食べ方といった情報も示す。

英語や中国語、韓国語にも対応する。サービスの提供先として、自治体や観光協会を想定している。

米マイクロソフトの生成ＡＩサービスを基に、台湾のＩＴ企業「インツミット」の技術を活用した。２０２３年から実証実験し、回答の精度を高めた。

2025年9月12日（金） 朝刊　全道版　10ページ

（１）生成人工知能（AI）を使い、観光地の問い合わせ対応に特化したサービスを始めた理由は何ですか。記事から２つ探して書きましょう。

（２）札幌市に来る観光客のために、日本語以外でもチャットで質問ができるようになっています。日本語以外の３つの言語を答えましょう。

（３）記事のイラストでは観光客が「お薦めの食べ物は？」と質問しています。この質問以外で、あなたが観光客の立場なら、どのような質問をしたいですか。質問を考えて書きましょう。